

## 審査項目および評価基準

## (1)実績(契約)

項番	審査項目	評価基準
1	受託実績(契約)	・過去5年間に地方公共団体において、グループウェアの構築・更新・移行等を受託し、これらを誠実に履行した実績を有すること(契約実績書の件数により評価)。

## (2)提案書およびプレゼンテーション

項番	審査項目	評価基準
1	本業務の目的に対する理解、課題解決の方向性	・本事業の目的を十分に理解したうえで、課題解決の適切な方向性を示している。
2	システム要件	・秋田市グループウェアシステム調達仕様書(以下、「仕様書」とする)の「9(1)システム要件」を満たすとともに、本業務の規模や特長を踏まえた適正なシステム構成の提案が、適切に示されている。
3	性能要件	・仕様書の「9(2)性能要件」を満たすとともに、実効性のある提案が、適切に示されている。
4	信頼性等要件	・仕様書の「9(3)信頼性等要件」を満たすとともに、災害等に関する対策、技術の進展や業務要件の変化等の拡張性を担保する対策および上位互換性や中立性を担保する対策の提案が、適切に示されている。
5	セキュリティ要件	・仕様書の「9(4)セキュリティ要件」を満たすとともに、情報漏洩や情報セキュリティ事故等に関する対策の提案が、適切に示されている。
6	システム移行	・仕様書の「10(1)システム移行要件」を満たすとともに、システム移行の手法および本市が実施する移行作業の軽減に関する提案が、適切に示されている。
7	研修要件	・仕様書の「10(2)研修要件」を満たすとともに、より有効な研修の手法および本市が実施する研修業務の軽減に関する提案が、適切に示されている。
8	テスト要件	・仕様書の「10(3)テスト要件」を満たすとともに、現実的かつ具体的な手法および本市が実施するテスト作業の軽減に関する提案が、適切に示されている。
9	プロジェクト管理	・仕様書の「11(1)プロジェクト管理」を満たすとともに、今回のような大規模案件におけるプロジェクト遅延等に関する対策の提案が、適切に示されている。
10	開発体制	・仕様書の「11(2)開発体制」を満たすとともに、受託者の開発体制、配置される人員数、本市に必要な体制と役割および負担軽減に関する提案が、適切に示されている。
11	品質管理	・仕様書の「11(3)品質管理」を満たすとともに、品質管理手法および品質管理体制の提案が、適切に示されている。
12	運用・保守	・仕様書の「12(1)運用・保守要件」を満たすとともに、本市が実施する運用・保守業務の軽減に関する提案が、適切に示されている。
13	追加提案	・仕様書に示している内容以外で、本市にとって有効な提案が、適切に示されている(但し、別途提案する見積内で実施することのみ)。
14	プレゼンテーションでの信頼感	・本業務に対する取組意欲やコミュニケーション能力は十分で、信頼のおけるパートナーとして相応しいか。

15	プレゼンテーションの説明のわかりやすさ	・説明が論理的でわかりやすく説得力がある。
16	プレゼンテーションの質問回答の適確さ	・質問に対する回答が的確に行われている。